

月山山頂の水不足について

現状

- ・この5年間の、月山ダム観測地点（上名川）の7月降水量

最小で 99 mm

最大で 733 mm

今年は7月25日時点、わずか3mmと記録的な少雨。

月山山頂の水不足は深刻な状況、今後も大量の水が確保が見込めない。

- ・山頂に常駐する、神社職員からの聞取りによると、シャワーはもとより、調理や洗い物などで使う水も控え対策している。さらには、常駐の人数を制限。
- ・また、登山客に飲食や休憩スペース、宿泊などを提供している山頂小屋については、日中の営業を控えている状況である。

対応方針

神社、山頂小屋は、災害時などは避難所としても利用される施設であり、安全安心な月山登山を支える重要な施設である。

これからの夏山登山のハイシーズン（R6.8：2.2万人）に向け、水不足解消のため、月山登山が快適な環境で提供できるよう、水確保に連携して取り組む必要がある。

緊急時の避難所等の対応が継続できるよう、上記施設に常駐する職員（15名程度）の飲食に必要な最低限の水を確保する対策を検討中。

登山者、関係機関が連携し、お互いの助け合い・協力により、水不足に対応し、山登りの持続可能な環境を構築していきたい。

【参考】

□8月の月山（羽黒口）観光者数

R6：21,900人

R5：35,400人

R4：17,700人

R3：20,200人

R2：14,100人

R1：41,100人